

令和3年6月30日から7月4日にかけての大雨に関する気象速報  
(修正)

6月30日から7月4日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、断続的に雨となりました。特に東海地方から関東地方南部と伊豆諸島北部では記録的な大雨となりました。

東海地方と関東地方南部では、この大雨の影響で土砂災害、浸水害、洪水害が発生しました。また、停電や交通機関の運休等の影響がありました。

このときの気象状況を取りまとめる目的で本資料を作成しました。

※7月6日に「令和3年6月30日から7月4日にかけての大雨に関する気象速報」を発表しましたが、内容に一部誤りがあったことから修正し改めて公開しました。また、本資料の概要を取りまとめた「概要版」を作成しました（別紙参照）。

気象速報は次の URL からご覧下さい。

<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/bocho/bosai/disaster/20210630-0704/20210630-0704.pdf>

目次は以下のとおりです。

- 1 気象の状況
- 2 警報等の発表状況
- 3 被害の状況
- 4 気象台の対応状況

問合せ先：東京管区気象台 気象防災部 防災調査課 担当 岩澤  
電話 042-497-7217 FAX 042-495-3180

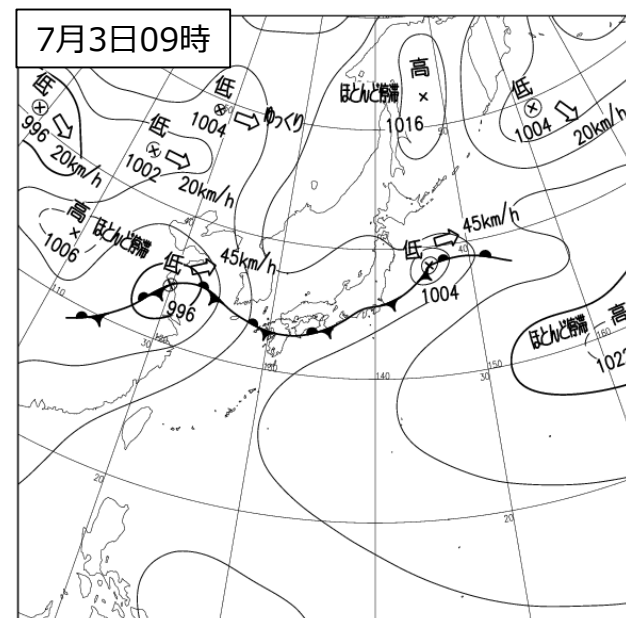
# 令和3年6月30日から7月4日にかけての大雨に関する気象速報（概要版）

## <概況>

6月30日から7月4日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、東海地方から関東地方南部と伊豆諸島北部では記録的な大雨となった。

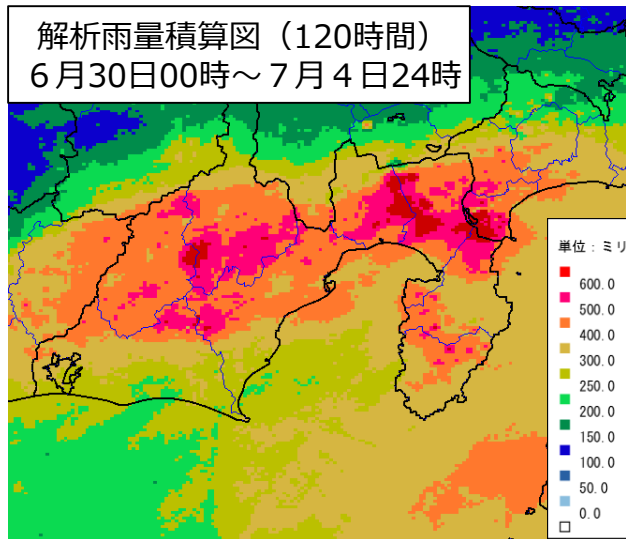
7月1日朝は伊豆諸島北部で雨が強まり、1時間降水量は新島川原で79.5ミリの非常に激しい雨を観測した。また、2日夜遅くから3日昼前にかけて、東海地方から関東地方南部で非常に激しい雨となり、1時間降水量は豊橋市神野新田町で53.0ミリ、御殿場で62.0ミリの降水量を観測し、共に7月の1位の値以上を記録した。

この大雨の影響により、東海地方と関東地方南部では土砂災害、浸水害、洪水害が発生した。また、停電や交通機関の運休等の影響があった。



## 72時間降水量の期間最大値（上位5地点）

順位	都道府県	市区町村	地点	期間最大値	
				mm	年月日 時分(まで)
1	神奈川県	足柄下郡箱根町	箱根(ハコネ)	805.5	2021/7/3 16:20
2	静岡県	伊豆市	天城山(アマギサン)	569.0	2021/7/3 18:50
3	静岡県	御殿場市	御殿場(ゴテンバ)	560.5	2021/7/4 0:50
4	静岡県	周智郡森町	三倉(ミクラ)	534.5	2021/7/3 8:40
5	静岡県	静岡市葵区	有東木(ウトウギ)	526.0	2021/7/3 9:20



## キキル(危険度分布)

